

yozora

GYOZORAN001XX / kohaku

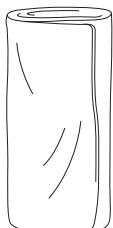
GYOZORAN002XX / kohaku duo

MANUAL - Ver 1.00

※設営、撤収、たたみ方など、
さまざまな動画や画像をここからご覧いただけます。
https://www.1101.com/n/s/kohaku_kuwashiku.html

■ セット内容

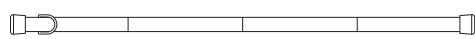
製品を広げる前に、セット内容をご確認ください。万が一不足している物がございましたら、弊社までお問い合わせください。



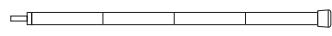
本体×1



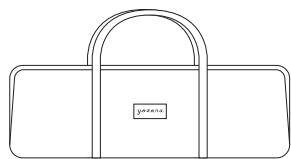
ポールケース
×1



メインポール×1



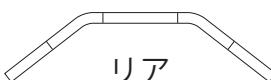
アップライトポール×2



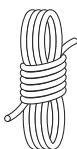
キャリーバッグ×1



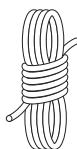
フロント
フレーム×1



リア
フレーム×1



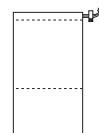
3mロープ
×6



2mロープ
×6



ステンレススペグ
×16



ペグ・ロープ
ケース×1

※ハンマーは付属しておりません。

■ 本製品について

製品をお使いになる前に、本製品の特性を充分にご理解ください。

火気厳禁 ※薪ストーブは絶対に禁止

本製品の生地には、化学繊維を使用しています。化学繊維は燃えると液化する性質があり、熱せられた液体が人体に付着すると重大な火傷の被害を及ぼします。テント、シェルター、タープには絶対に火を近づけないでください。特に薪ストーブのテント、シェルター、タープ内での使用は、絶対にしないでください。

撥水効果は維持できません

表面には撥水加工を施してありますが、撥水効果を長時間維持する事はできません。一定時間雨にあたった場合や朝露などで表面にシミやムラなどが発生します。また、撥水性能はお使い毎に低下し、長期保持させることもできません。撥水加工に関しては保証対象外になりますので、ご了承ください。

しっかり乾燥して保管

製品を濡れたまま保管すると、生地裏面に加工したポリウレタンが水に反応して分解・剥離し、シームテープが剥がれたりするなど、防水性が損なわれる原因となります。ご使用後はしっかりと乾燥させ、高温多湿の場所を避けて保管してください。特にシームテープ部分は、しっかり拭き取ってください。

3シーズン用です

本製品は、降雪や低温下に耐え得る仕様にはなっていません。ジッパーが凍る低温下や降雪時には使用しないでください。

火気厳禁タグを切り取らない

製品に縫い付けてある火気厳禁タグは切り取らないでください。火気厳禁タグの無い製品は保証や修理を受ける事ができません。

■ 設営と使用中の注意

お使いになる人や、まわりの人への危害、財産の損害を防ぐために、以下の内容は必ずお守りください。



死亡、または重傷を負う可能性がある
内容を示しています。

- テント、シェルター、タープは火気厳禁です。火災や酸欠、一酸化炭素中毒などの恐れがあり大変危険です。火器の使用はもちろん、付近に火を近づけないでください。
- 台風や暴風雨などの悪天候時や、それらが予想される場合は、速やかにキャンプを中止してください。
- 風の影響を受けやすい場所や、落石や雪崩、増水などの恐れのある場所で、設営はしないでください。



注意

軽傷を負う事や、物的損害が発生する可能性がある内容を示しています。

- 常設用ではありません。本製品を常設した場合、紫外線などの影響で短期間のうちに劣化し破損します。
- 水はけが良く、平らな場所で設営してください。水気や汚れは劣化につながり、不整地は製品の歪みによる破損につながります。
- 石や小枝など、製品を傷つける恐れのある物は、設営前に取り除いてください。
- 製品を設営する場合は、周りに注意しながら、必ず二人以上で行ってください。
- 風が強い時は設営をしないでください。本体が飛ばされたり、風の力により製品を破損する場合があります。
- 設営時は突風に備え、常に本体やフレームが飛ばないように意識して、支えながら作業をしてください。
- ポールやフレームを伸ばす際は、各節を確実に差し込んでください。各節がしっかり差し込まれていない状態での製品組み立ては、破損につながります。

- ポールやフレームを取り回す際には、先端や跳ね返りに気をつけ、周りに注意しながら作業をしてください。
- 設営後は、テント、シェルター、タープが風に飛ばされないよう、ペグとロープで地面にしっかりと固定してください。
- 急な天候の変化に対応できるよう、製品から長時間離れないようにしてください。
- 雨量が多い場合、バイザーの真下は縫い目から染み込んだ雨が落ちてくる可能性がありますので、雨天時はバイザーより内側で過ごすことをおすすめします。また、バイザーの縫い目に市販の目止め剤を塗布することで雨の染み込みを軽減することができます。
- 「空を見る窓」については、真上から降る雨には耐えうることを確認しておりますが、横なぐりの強い雨が降った場合はファスナー部分から染み込んだ雨が落ちてくる可能性があります。
- 室内天井部先端の結合部には、シームテープが貼れない部分があります。万が一水漏れする場合は、市販の目止め剤を塗布してください。

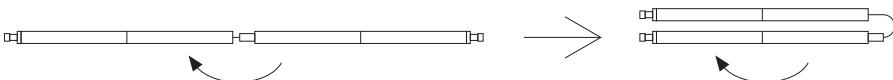
■ 撤収と使用後の注意

お使いになる人や、まわりの人への危害、財産の損害を防ぐために、以下の内容は必ずお守りください。



軽傷を負う事や、物的損害が発生する可能性がある内容を示しています。

- 撤収作業も二人以上で行ってください。
 - 撤収は、設営と逆の手順で行なってください。無理な撤収は、製品の破損につながります。
 - フレームやポールを抜き取る際など、先端や跳ね返りに気をつけ、周りに注意しながら作業してください。
 - ショックコード(ゴム紐)が内蔵されたフレームやポールを畳む際は、全体の真ん中から折り畳むようにすると、ショックコードに余計なテンションが掛からず、ゴムの劣化を緩和させることができます。



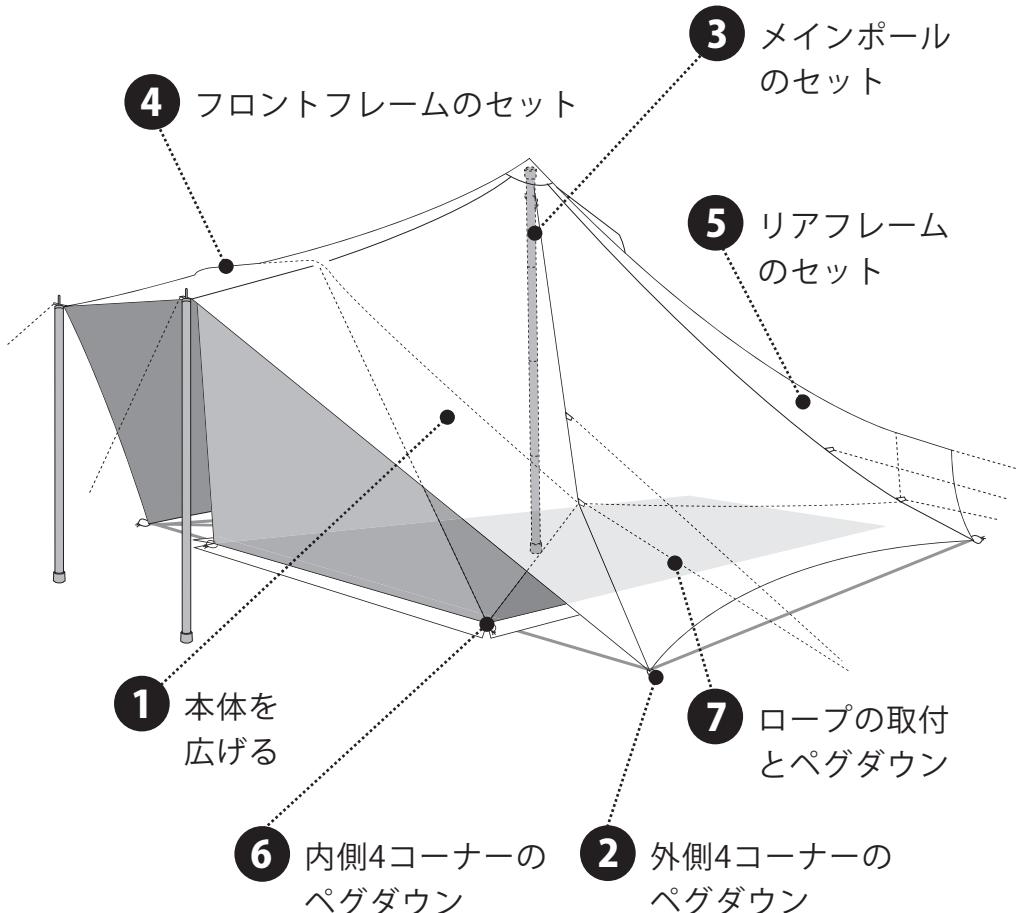
- 使用後は生地の汚れを落とし、充分に乾燥させてから保管してください。汚れや水気を放置したまま保管すると、色移りやカビ、悪臭の原因になったり、防水加工やシームテープの剥離につながります。
- フレームやポール、アクセサリーなどの金属部品も、充分に乾燥させてから保管してください。水気や汚れを放置したまま保管すると、腐食により破損する恐れがあります。
- 塩分は生地の劣化を促進させます。海の近くで使用した場合は、真水で洗い流し、よく乾燥させてから保管してください。
- 生地の汚れを落としたり、水気を拭き取る場合は、柔らかいタオルで軽く押さえる様に拭き取ってください。擦るように拭き取ると、コーティングを痛める場合があります。
- シンナーなどの有機溶剤は使用しないでください。撥水・防水加工の剥離や色落ちなどの恐れがあります。
- 洗濯はしないでください。生地の劣化やパーツの破損につながります。
- 幼児、子どもの手の届かない場所に保管してください。

■ 設営手順

番号に従って、設営をします。

【事前準備】

※ハンマーを用意する

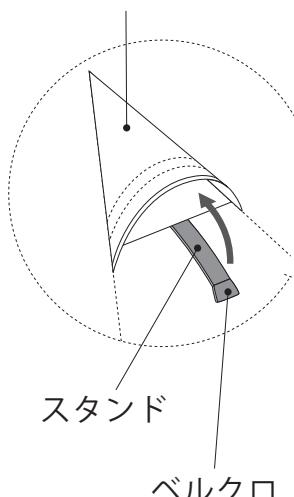


1 本体を広げる

ベンチレーションと「空を見る窓」を目印にして前後を確認し、広げる。

※このとき、ベンチレーションのスタンドをベルクロで接続しておく。

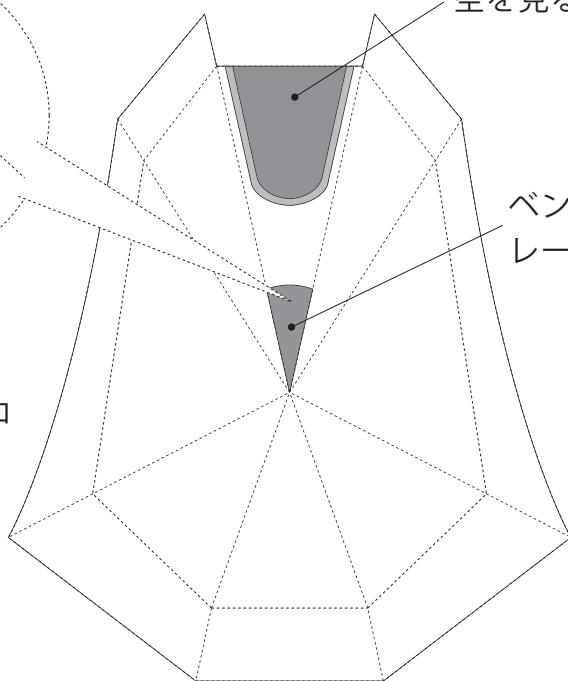
ベンチレーション



バック

空を見る窓

ベンチ
レーション



フロント

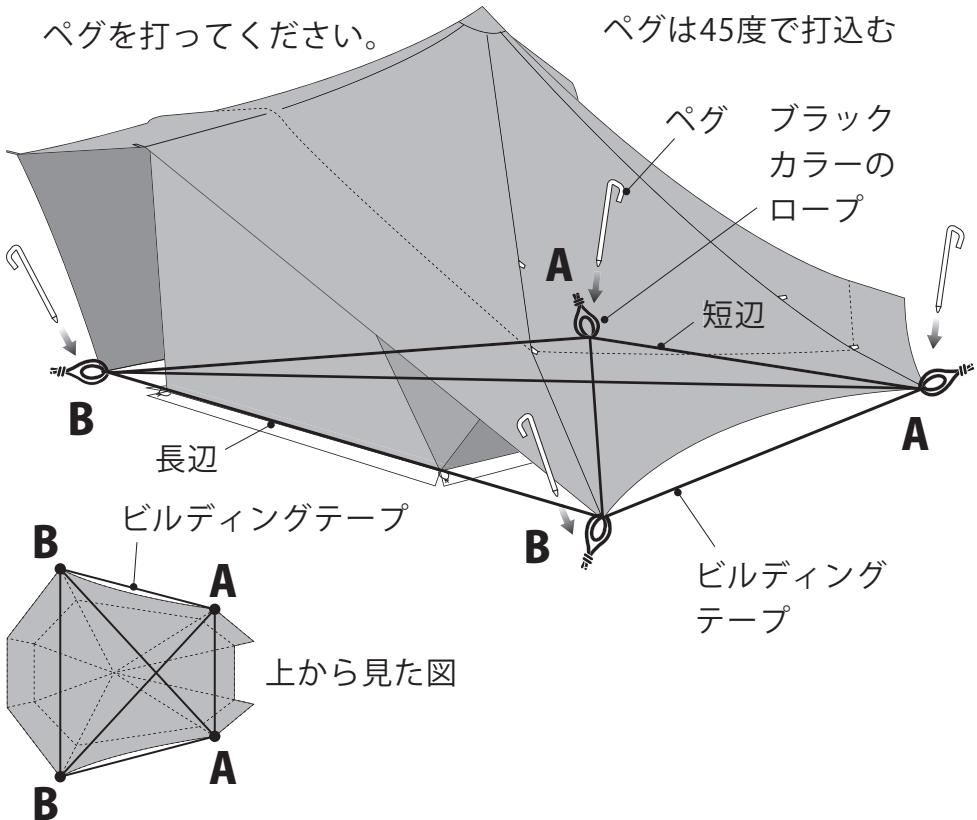
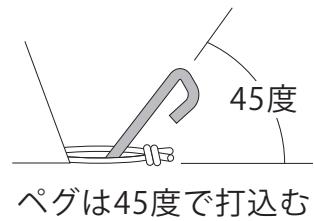
② 外側4コーナーのペグダウン

A:台形のビルディングテープの短辺2コーナーにある
黒いロープにペグを打ち込む。

B:ビルディングテープに従って、長辺2コーナーにある
黒いロープにペグを打ち込む。

※ビルディングテープは緩みの無いよう
適度にテンションを掛けてください。

※ロープは必ず2重にして
ペグを打ってください。

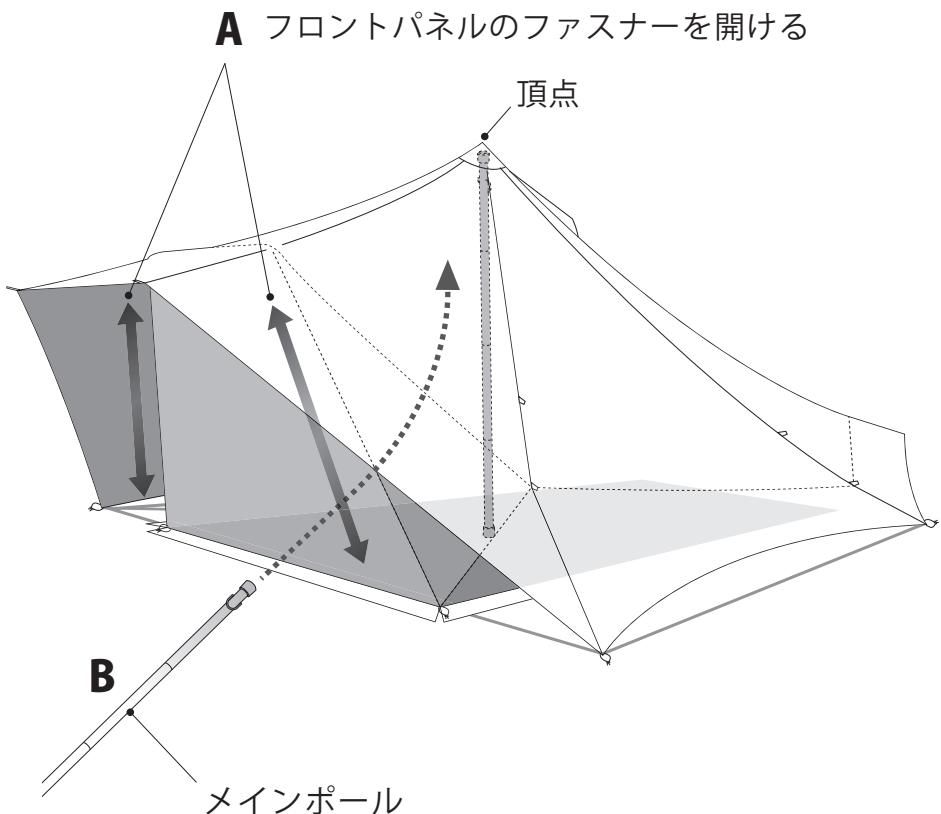


③ メインポールのセット

メインポールを組み立てる。

A: フロントパネルのファスナーを開ける。

B: メインポールを室内に入れ、頂点を押し上げ自立させる。



4 フロントフレームのセット

フロントフレーム(コの字型の長いフレーム)を組み立てる。

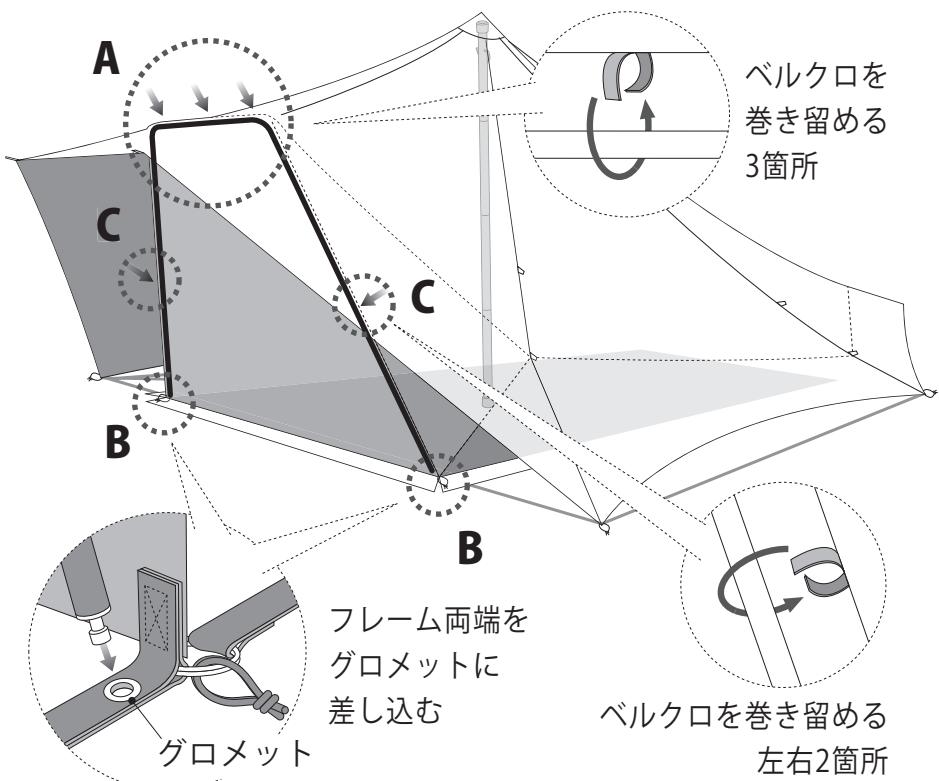
A: フロントフレームを室内に入れ、

出入り口上部のベルクロを3箇所巻き留める。

B: フレーム両端の凸部をビルディングテープの

グロメットに差し込む。

C: フレーム中央部、左右のベルクロを巻き留める。



5 リアフレームのセット

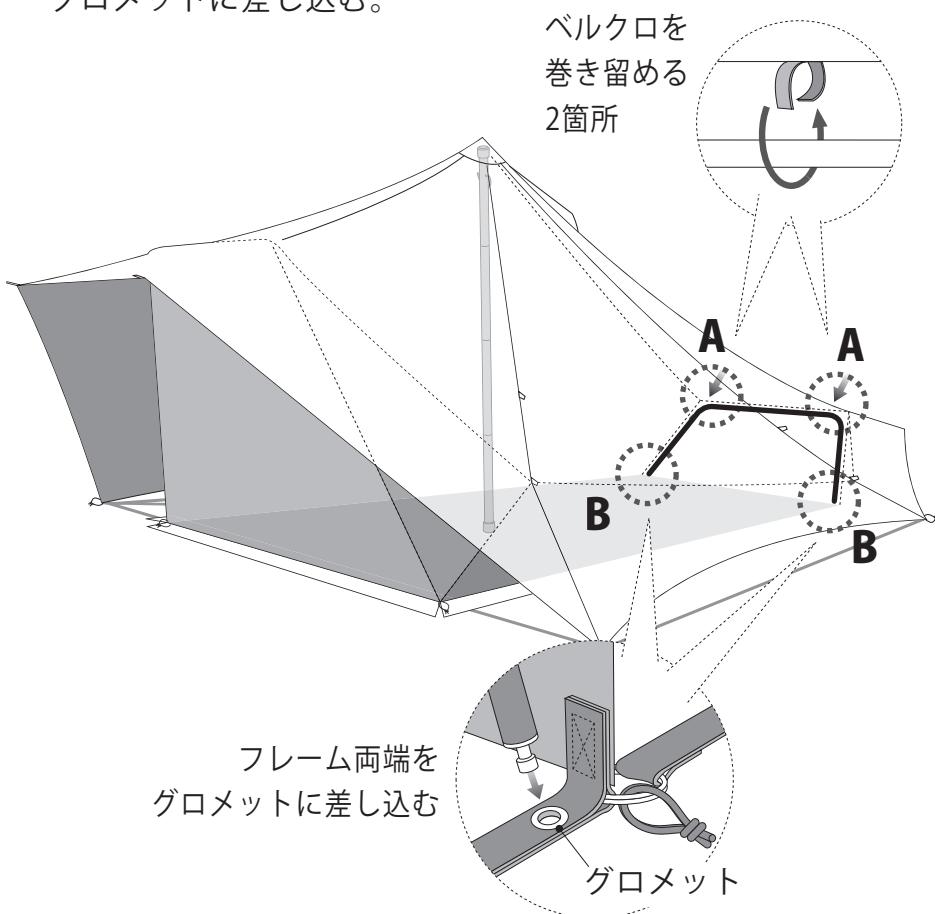
リアフレーム(コの字型の短いフレーム)を組み立てる。

A: リアフレームを室内に入れ、

後方上部のベルクロ口を2箇所巻き留める。

B: フレーム両端の凸部をビルディングテープの

グロメットに差し込む。

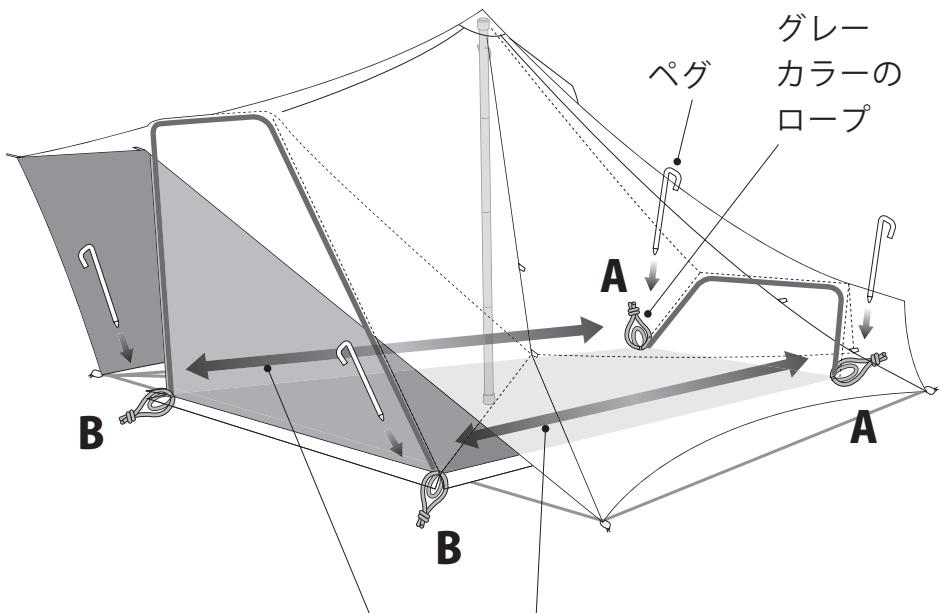


⑥ 内側4コーナーのペグダウン

A: リアフレーム両端にあるグレーのロープにペグを打ち込む。

B: フロントフレーム両端にあるグレーのロープにペグを打ち込む。

※矢印の方向にテンションが掛かるようにペグを打ち込む。



矢印方向にテンションが
掛かるようにペグを打つ

7 -1 ロープの取付とペグダウン

全てのロープの先端にループを作る。

A:3mロープをテープに取り付ける。

B:2mロープをテープに取り付ける。

(A、B共に反対側も同様に取り付ける。)

C:アップライトポールをフロントバイザーの

グロメットに差込み、ポールの先端に

3mロープを掛ける。

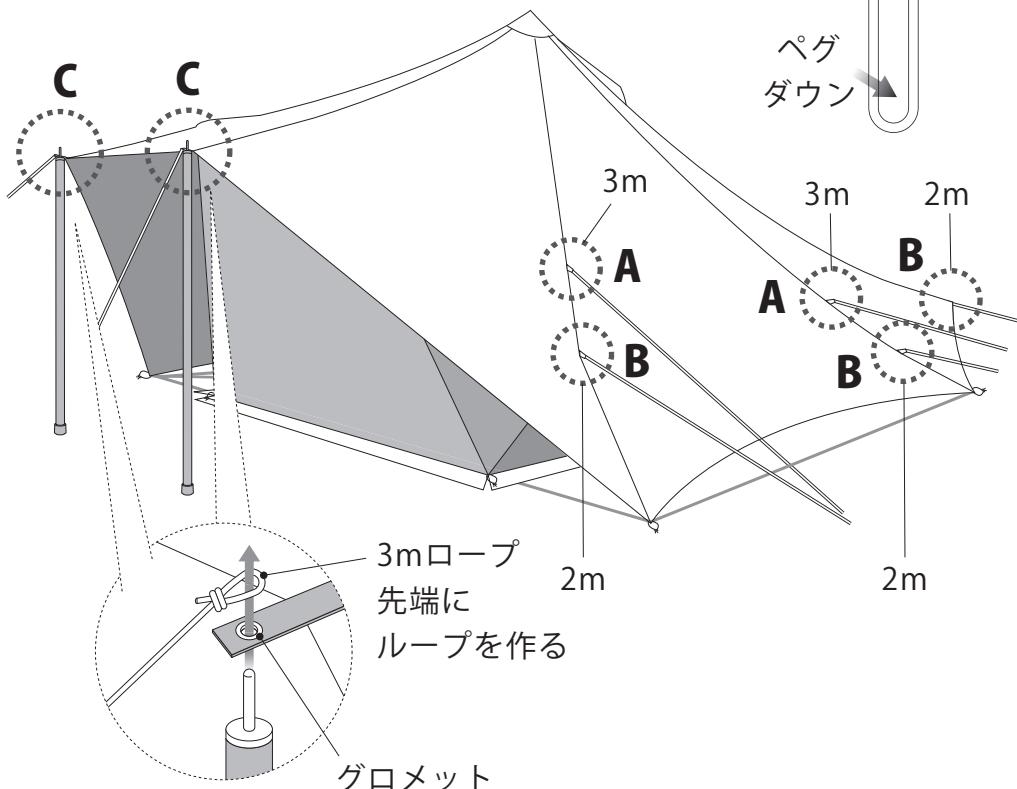
ロープの
セッティング

テープ

ループを
作る

自在

ペグ
ダウン



7 -2 ロープの取付とペグダウン

D:前後のロープ4箇所をペグダウンする。

※注意:ペグダウンの方向は縫製ラインの延長線上。

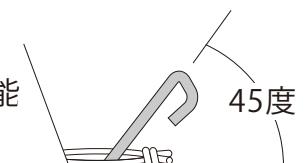
誤った方向へ張るとバイザーの破れの原因になります。

E:側部のロープをペグダウンする。

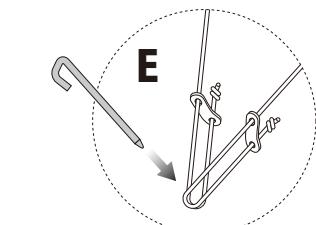
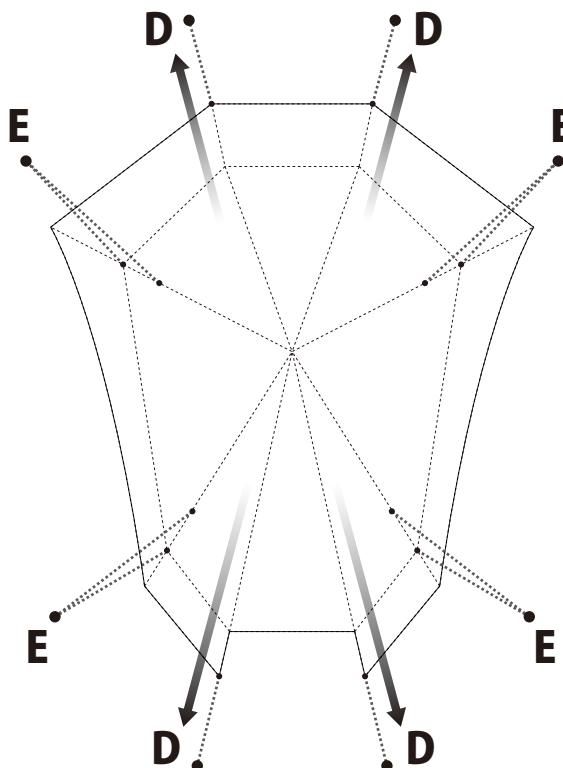
※強風の可能性がない場合は省略も可能

F:ロープの自在を引き上げ、

テンションを掛ける。

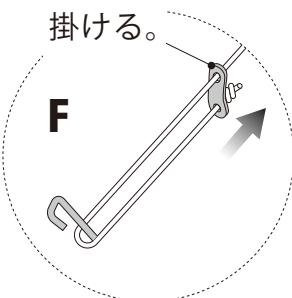


ペグは45度で打込む



E部分は2本まとめて、
1本のペグで固定

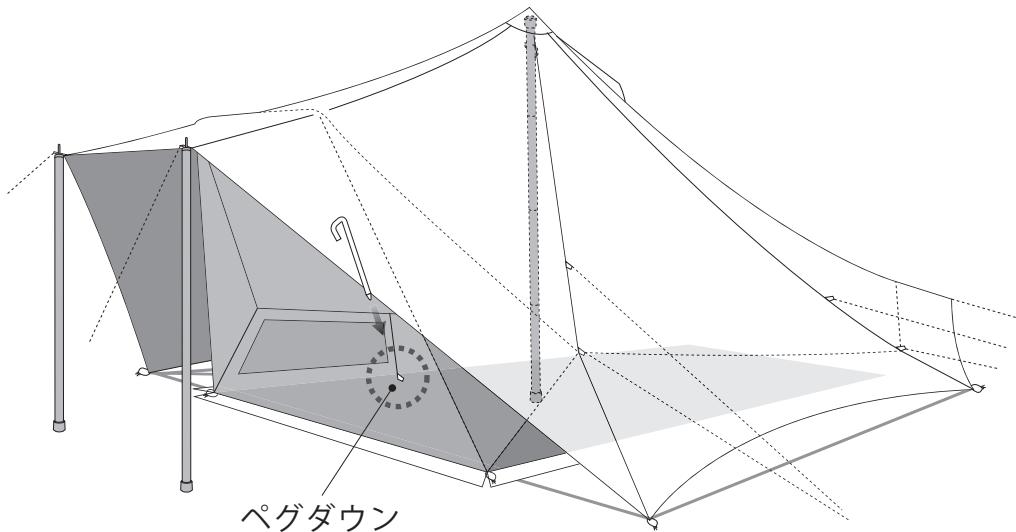
自在を引き上げ、
テンションを
掛ける。



【より過ごしやすくするために】

ダブルウォール内側のテープをペグダウンすることでファスナーの開け閉めがしやすくなります。

※この部分のペグは付属しておりません。



■ 保証と修理について

製品に不備な点がございましたら弊社までお問い合わせください。製造上の欠陥が理由の場合は、無償で交換・修理をさせていただきます。ご使用や経年による破損などに関しては、適正な価格で修理をさせていただきます。製品やパーツの廃番により資材の入手が困難な場合や、製品の状態によっては修理ができない場合もございますので、ご了承ください。

※ 修理品をお預けの際は、製品の水気や汚れを取ってからお預けください。水気や汚れがあるものは、修理作業の妨げになります。弊社の方で、修理前に一度それらを取り除く作業を行った場合は、コストと時間に影響がでて、結果的にお客様へのご負担が増える場合がございます。ご理解の程よろしくお願ひ致します。

株式会社 ほぼ日

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-18 ほぼ日神田ビル
問い合わせ先:postman@1101.com (件名:yozora kohaku)